

9. 保険会社およびその子会社等の状況

(1) 主要な業務の状況を示す指標

(単位:億円)

項目	当四半期連結会計期間 〔自平成20年4月1日〕 〔至平成20年6月30日〕	当四半期連結累計期間 〔自平成20年4月1日〕 〔至平成20年6月30日〕
経常収益	8,472	8,472
経常利益	401	401
当期純剰余	356	356
総資産額	254,379	254,379

(注)総資産額は当四半期連結会計期間末(平成20年6月30日現在)の数値です。

なお、平成19年度末(平成20年3月31日現在)の総資産額は253,149億円です。

(2) 連結範囲および持分法の適用に関する事項

連結される子会社および子法人等数	6社
持分法適用の非連結の子会社および子法人等数	0社
持分法適用の関連法人等数	0社

期中における重要な子会社等の異動について

当四半期連結会計期間から、ウェルネスケア・ネットワーク株式会社およびMeiji Yasuda Properties UK Limitedを連結される子会社および子法人等から除外しております。

(3)(要約) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円、%)

期 別 科 目	平成20年度第1四半期連結会計期間末 (平成20年6月30日現在)		平成19年度末要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日現在)	
	金 額	構成比	金 額	構成比
(資 産 の 部)				
現金及び預貯金	290,530	1.1	352,750	1.4
コールローン	386,000	1.5	250,000	1.0
買入金銭債権	233,126	0.9	445,898	1.8
有価証券	16,965,393	66.7	16,519,592	65.3
貸付金	6,138,705	24.1	6,270,008	24.8
有形固定資産	1,075,837	4.2	1,081,881	4.3
無形固定資産	66,227	0.3	67,429	0.3
代理店貸	1,174	0.0	1,449	0.0
再保険貸	2,784	0.0	2,771	0.0
その他資産	272,802	1.1	305,162	1.2
繰延税金資産	4,456	0.0	17,049	0.1
支払承諾見返	11,739	0.0	11,616	0.0
貸倒引当金	△10,824	△0.0	△10,655	△0.0
資産の部合計	25,437,954	100.0	25,314,955	100.0
(負 債 の 部)				
保険契約準備金	22,331,869	87.8	22,248,899	87.9
支払備金	134,862		148,918	
責任準備金	21,739,114		21,726,193	
社員配当準備金	457,892		373,787	
代理店借	8	0.0	9	0.0
再保険借	2,787	0.0	2,691	0.0
その他負債	581,732	2.3	865,342	3.4
退職給付引当金	616	0.0	609	0.0
役員退職慰労引当金	854	0.0	777	0.0
偶発損失引当金	4,418	0.0	4,353	0.0
価格変動準備金	211,988	0.8	212,804	0.8
繰延税金負債	148,681	0.6	—	—
再評価に係る繰延税金負債	122,248	0.5	122,634	0.5
支払承諾	11,739	0.0	11,616	0.0
負債の部合計	23,416,945	92.1	23,469,739	92.7
(純 資 産 の 部)				
基金	60,000	0.2	60,000	0.2
基金償却積立金	350,000	1.4	350,000	1.4
再評価積立金	452	0.0	452	0.0
連結剰余金	121,770	0.5	224,567	0.9
基金等合計	532,223	2.1	635,020	2.5
その他有価証券評価差額金	1,417,161	5.6	1,132,404	4.5
繰延ヘッジ損益	3	0.0	11	0.0
土地再評価差額金	82,947	0.3	83,350	0.3
為替換算調整勘定	△14,779	△0.1	△9,314	△0.0
評価・換算差額等合計	1,485,332	5.8	1,206,452	4.8
少数株主持分	3,453	0.0	3,743	0.0
純資産の部合計	2,021,009	7.9	1,845,216	7.3
負債及び純資産の部合計	25,437,954	100.0	25,314,955	100.0

(4)(要約)四半期連結損益計算書

(単位:百万円、%)

科 目	平成20年度第1四半期連結累計期間 〔平成20年4月1日から 平成20年6月30日まで〕	
	金 額	百分比
経 常 収 益	847,232	100.0
保 険 料 等 収 入	633,059	
資 産 運 用 収 益	153,490	
（うち利息及び配当金等収入）	（ 115,752 ）	
（うち金銭の信託運用益）	（ 1 ）	
（うち売買目的有価証券運用益）	（ 0 ）	
（うち有価証券売却益）	（ 7,282 ）	
（うち特別勘定資産運用益）	（ 28,939 ）	
そ の 他 経 常 収 益	60,683	
経 常 費 用	807,061	95.3
保 険 金 等 支 払 金	620,686	
（うち保険金）	（ 230,259 ）	
（うち年金）	（ 91,914 ）	
（うち給付金）	（ 140,340 ）	
（うち解約返戻金）	（ 128,479 ）	
責 任 準 備 金 等 繰 入 額	17,782	
責任準備金繰入額	17,486	
社員配当金積立利息繰入額	296	
資 産 運 用 費 用	18,252	
（うち支払利息）	（ 1,483 ）	
（うち有価証券売却損）	（ 2,983 ）	
（うち有価証券評価損）	（ 3,248 ）	
事 業 費	83,097	
そ の 他 経 常 費 用	67,242	
経 常 利 益	40,170	4.7
特 別 利 益	792	0.1
固定資産等処分益	34	
価格変動準備金戻入額	758	
特 別 損 失	2,615	0.3
固定資産等処分損	739	
減 損 損 失	1,496	
偶発損失引当金繰入額	64	
社会厚生事業増進助成金	280	
そ の 他 特 別 損 失	33	
税 金 等 調 整 前 四 半 期 純 剰 余	38,348	4.5
法 人 税 及 び 住 民 税 等	2,683	0.3
法 人 税 等 調 整 額	91	0.0
少 数 株 主 損 失	△66	△0.0
四 半 期 純 剰 余	35,640	4.2

(5)(要約)四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	平成20年度第1四半期 連結累計期間 〔平成20年4月1日から 平成20年6月30日まで〕
科 目	金 額
I 営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純剰余	38,348
減価償却費	5,591
減損損失	1,496
支払備金の増加額	△13,974
責任準備金の増加額	17,435
社員配当準備金積立利息繰入額	296
貸倒引当金の増加額	211
退職給付引当金の増加額	6
役員退職慰労引当金の増加額	77
価格変動準備金の増加額	△758
利息及び配当金等収入	△115,935
有価証券関係損益	△28,618
支払利息	1,483
有形固定資産関係損益	222
その他	△42,736
小 計	△136,853
利息及び配当金等の受取額	125,766
利息の支払額	△2,562
社員配当金の支払額	△55,310
法人税等の支払額	△56,617
営業活動によるキャッシュ・フロー	△125,577
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	
預貯金の純増加額	256
買入金銭債権の取得による支出	△9,500
買入金銭債権の売却・償還による収入	1,441
有価証券の取得による支出	△1,282,848
有価証券の売却・償還による収入	1,346,313
貸付けによる支出	△248,748
貸付金の回収による収入	377,547
債券貸借取引受入担保金の増加額	△198,324
II① 小 計	△13,862
(I + II①)	(△139,440)
有形固定資産の取得による支出	△2,602
有形固定資産の売却による収入	262
無形固定資産の取得による支出	△1,727
投資活動によるキャッシュ・フロー	△17,929
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	
借入れによる収入	641
借入金の返済による支出	△180
基金利息の支払額	△1,049
その他	△71
財務活動によるキャッシュ・フロー	△659
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額	△1,860
V 現金及び現金同等物の増加額	△146,028
VI 現金及び現金同等物期首残高	821,052
VII 連結子会社の減少に伴う現金及び現金同等物の減少額	△725
VIII 現金及び現金同等物四半期連結会計期間末残高	674,299

注記事項

(四半期連結財務諸表の作成方針)

平成 20 年度第 1 四半期連結累計期間	
1.	連結の範囲に関する事項の変更 当第 1 四半期連結会計期間から重要性の観点により、清算手続き中のウェルネスケア・ネットワーク株式会社および Meiji Yasuda Properties UK Limited を連結される子会社および子法人等から除外しております。 変更後の連結される子会社および子法人等数は 6 社となります。

注記事項

(四半期連結貸借対照表関係)

平成 20 年度第 1 四半期連結会計期間末											
1.	簡便的な会計処理及び四半期特有の会計処理 (1) 親会社の四半期貸借対照表については、前年度の剰余金処分案が 7 月 1 日の総代会にて承認されることを前提としております。 (2) 親会社の税金費用については、当第 1 四半期連結累計期間を含む会計年度の税引前当期純剰余に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積もり、税引前四半期純剰余に当該見積実効税率を乗じて計算しております。 なお、親会社の法人税等調整額は、法人税及び住民税等に含めて計算しております。 また、親会社の繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前年度末以降に経営環境等及び一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるため、前年度末において使用した将来の業績予測およびタックスプランニングを利用する方法によっております。										
2.	親会社の責任準備金には、一部の個人年金保険契約を対象に、保険業法施行規則第 6 9 条第 5 項の規定に基づき、前年度から 3 年間にわたり追加して積み立てることとしたものが含まれています。 なお、このうち当第 1 四半期連結累計期間に積み立てた額は、2 9, 6 7 8 百万円であり、当第 1 四半期連結会計期間末における積立所要額の 6 9. 3 % まで積み立てております。										
3.	社員配当準備金の異動状況は次のとおりであります。 <table><tbody><tr><td>前連結会計年度末現在高</td><td>3 7 3, 7 8 7 百万円</td></tr><tr><td>前連結会計年度連結剰余金よりの繰入予定額</td><td>1 3 9, 1 0 7 百万円</td></tr><tr><td>当四半期連結累計期間社員配当金支払額</td><td>5 5, 3 1 0 百万円</td></tr><tr><td>利息による増加等</td><td>3 0 8 百万円</td></tr><tr><td>当四半期連結会計期間末現在高</td><td>4 5 7, 8 9 2 百万円</td></tr></tbody></table>	前連結会計年度末現在高	3 7 3, 7 8 7 百万円	前連結会計年度連結剰余金よりの繰入予定額	1 3 9, 1 0 7 百万円	当四半期連結累計期間社員配当金支払額	5 5, 3 1 0 百万円	利息による増加等	3 0 8 百万円	当四半期連結会計期間末現在高	4 5 7, 8 9 2 百万円
前連結会計年度末現在高	3 7 3, 7 8 7 百万円										
前連結会計年度連結剰余金よりの繰入予定額	1 3 9, 1 0 7 百万円										
当四半期連結累計期間社員配当金支払額	5 5, 3 1 0 百万円										
利息による増加等	3 0 8 百万円										
当四半期連結会計期間末現在高	4 5 7, 8 9 2 百万円										
4.	担保に供されている資産の額は、有価証券 1 7, 9 6 3 百万円であります。										
5.	消費貸借契約により貸し付けている有価証券（現金担保付債券貸借取引による有価証券を含む）の貸借対照表価額は、1, 7 5 9, 1 1 6 百万円であります。										
6.	その他負債には、他の債務よりも債務の履行が後順位である旨の特約が付された劣後特約付借入金 1 0 0, 0 0 0 百万円を含んでおります。										

注記事項

(四半期連結損益計算書関係)

平成 20 年度第 1 四半期連結累計期間				
1. 当第 1 四半期累計期間における減損損失に関する事項は、次のとおりであります。				
(1) 資産のグルーピング方法				
保険事業等の用に供している不動産等については、保険事業等全体で 1 つの資産グループとしております。また、保険事業等の用に供していない賃貸不動産等および遊休不動産等については、それぞれの物件ごとに 1 つの資産グループとしております。				
(2) 減損損失の認識に至った経緯				
不動産市況の悪化等により、一部の資産グループに著しい収益性の低下または時価の下落が見られたことから、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上しております。				
(3) 減損損失を認識した資産グループと減損損失計上額の固定資産の種類ごとの内訳				
	用途	件数	減 損 損 失(百万円)	
			土 地	建 物
			計	
	賃貸不動産等	2件	170	187
	遊休不動産等	17件	590	547
	合 計	19件	761	735
			1,496	
(4) 回収可能価額の算定方法				
回収可能価額は、賃貸不動産等については物件により使用価値または正味売却価額を、遊休不動産等については正味売却価額を適用しております。なお、使用価値については見積乖離リスクを反映させた将来キャッシュ・フローを 2.82% で割り引いて算定しております。また、正味売却価額については不動産鑑定評価基準に基づく鑑定評価額等から処分費用見込額を差し引いた価額、または公示価格等を基準にした評価額等をもとに算定しております。				

注記事項

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

平成 20 年度第 1 四半期連結累計期間	
1. 四半期連結キャッシュ・フロー計算書における現金及び現金同等物は、手許現金、随時引き出し可能な預金および容易に換金可能であり、かつ、価値の変動について僅少なリスクしか負わない取得日から 3 ヶ月以内に償還期限の到来する短期投資からなります。	
2. 現金及び現金同等物の当第 1 四半期連結会計期間末残高と四半期連結貸借対照表上に記載されている科目の金額との関係は次のとおりであります。	
現金及び預貯金	287,984 百万円
コールローン	386,000 百万円
有価証券	314 百万円
現金及び現金同等物	674,299 百万円

(6)セグメント情報

平成 20 年度第 1 四半期(平成 20 年 4 月 1 日から平成 20 年 6 月 30 日まで)において、当社および連結される子会社および子法人等は、生命保険事業以外に損害保険事業等を営んでいますが、当該事業の全セグメントに占める割合が僅少であるため、セグメント情報の記載を省略しています。